

教科 (科目の種類) 外国語		学科 (コース) 名	学 年	単 位 数	履 修 期 間
		商業科(観光コース)	1 年	3 単位	前期・後期・ 通年
		科目名	観光中国語 I		
目 標	生徒の中国語に対する興味を湧かせることを前提にし、発音記号をしっかりと練習させ、日常生活の中でよく使われる表現を学習し、最も基本となる文型を修得すると共に積極的に中国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。				
概 要	<p>中国語入門知識。漢字とピンイン。声母・韻母・声調・音節・軽声・声調変化・無気音・有気音。自己紹介。日常挨拶。人称代名詞・指示代名詞。名詞述語文・動詞述語文・形容詞述語文。疑問文。基本文型と質問の出し方、数に関する表現、場所に関する表現、助動詞「会・想・能・得」等の用法について学習する。二重目的語・連動文・「比較」の表現、「類似」の表現、「在と有」の比較、主な量詞、助詞「过」、介詞「在・从・离・跟・给」等をマスターする。</p> <p>基本文型の学習と共に日常会話も重視する。自己紹介・自分の願望を人に伝える会話、他人に簡単な疑問・質問ができるように反復練習する。</p>				
授 業 計 画	<p>1 学期</p> <p>1. 中国語とは？中国語の特徴</p> <p>2. 中国語の発音・音節のなり方</p> <p>3. 声母・単母音・複母音・軽声・声調</p> <p>4. 第1課 你是中国人吗？</p> <p>5. 第2課 这是什么？</p> <p>中間考査</p> <p>6. 第3課 你去哪儿？</p> <p>7. 第4課 这个包多少钱？</p> <p>期末考査</p> <p>2 学期</p> <p>1. 第5課 你下午有事吗？</p> <p>2. 第6課 你吃饭了吗？</p> <p>3. 第7課 你家有几口人？</p> <p>中間考査</p>		<p>4. 第8課 你从几点开始打工？</p> <p>5. 第9課 你去过美国吗？</p> <p>6. 第10課 你会唱歌吗？</p> <p>期末考査</p> <p>3 学期</p> <p>1. 第11課 你在干什么呢？</p> <p>2. 第12課 欢迎你去北京。</p> <p>3. 総合練習 (1)</p> <p>総合練習 (2)</p> <p>総合練習 (3)</p> <p>総合練習 (4)</p> <p>学年末考査</p> <p>4. 検定対策</p>		
評 価 の 観 点	<p>知識・技能</p> <p>中国語発音の仕組みを理解する。子音・母音・声調についてマスターする。語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</p> <p>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>中国語の会話の行う場面、状況などに応じて、日常的な話題について、中国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図のなどを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p> <p>以上の観点と内容から評価する。また、校内・校外の中国語に関する発表会等の出場・検定合格も成績評価に取り入れる。</p>				
教 材 履 修 上 の 注 意	<p>教科書： 『新・高校版 中国語はじめの一步』</p> <p>副教材： 1. 積極的な姿勢で授業に臨み、教科書・ノート・筆記用具は必ず揃えて授業に参加すること。</p> <p>2. 基本的な文型や文法事項などは課毎に理解し、実際に活用の練習をすること。</p> <p>3. テキストの本文を暗唱したり、会話文を繰り返し練習するように語録の習得に努めること。</p> <p>4. 言葉が使えるようになるには、反復学習が不可欠であり、授業中だけでなく学習した内容を日頃から復習する心がけが求められる。</p> <p>5. 積極的に中国語検定試験を取り組み、準4級合格チャレンジを目標に授業に臨んでほしい。</p>				

教科（科目の種類） 外国語	学科（コース）名 全学科（総合選択B） 科目名	学 年 2年	単 位 数 2単位	履 修 期 間 前期・後期・ 通年
目 標	生徒の中国語に対する興味を湧かせることを前提にし、発音記号をしっかりと練習させ、日常生活及び高校生活の中でよく使われる表現を学習し、最も基本となる文型を修得すると共に積極的に中国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。			
概 要	中国語入門知識。漢字とピンイン。声母・韻母・声調・音節・軽声・声調変化・無気音・有気音。自己紹介。日常用挨拶。人称代名詞・指示代名詞。名詞述語文・動詞述語文・形容詞述語文。「吗」を用いる疑問文。「反復疑問文」。疑問詞を用いる疑問文。数・時間・月日・曜日・年齢・などの言い方。「存現文」。助動詞「喜欢」、介詞「给」と二重目的語。代詞「什么と怎么」の使い方。完了を示す「了」と状態変化を示す「了」など。			
授 業 計 画	<p>1 学期（4月～7月） 発音 音節のつづり方・声母・単母音 複合母音・声調・軽声・声調変化。</p> <p>第1課 あいさつ 第2課 名前を尋ねる</p> <p style="text-align: right;">中間 考 査</p> <p>第3課 食べたいものを尋ねる 第4課 近況を尋ねる 第5課 予定を尋ねる 第6課 場所を尋ねる</p> <p style="text-align: right;">期 末 考 査</p> <p>2 学期（9月～12月） 第7課 注文する 第8課 値段を交渉する 第9課 出来事を尋ねる① 第10課 出来事を尋ねる② 中間 考 査</p>	<p>第11課 希望を尋ねる 第12課 行き方を尋ねる 第13課 経験を尋ねる</p> <p style="text-align: right;">期 末 考 査</p> <p>3 学期（1月～3月） 1月～3月 第14課 相手の都合を尋ねる 第15課 比較する 第16課 条件・情報を尋ねる 第17課 進行状況を尋ねる 第18課 別れを告げる</p> <p>総復習</p> <p style="text-align: right;">学 年 末 考 査</p>		
評 価 の 観 点	<p>知識・技能 中国語発音の仕組みを理解する。子音・母音・声調についてマスターする。語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</p> <p>思考・判断・表現 中国語の会話の行う場面、状況などに応じて、日常的な話題について、中国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図のなどを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 主体的に学習に取り組む態度 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 以上の観点と内容から評価する。また、校内・校外の中国語に関する発表会等の出場等も成績評価に取り入れる。</p>			
教 材 履 修 上 の 注 意	<p>教科書： 『できる・つたわるコミュニケーション中国語』</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 積極的な姿勢で授業に臨み、教科書・ノート・筆記用具は必ず揃えて授業を受けること。 2. 授業中は大きな声で発音練習し、発音記号はしっかりとマスターすること。 3. 初めて習う外国語なので、授業中だけでなく、学習した内容を日頃から復習する心がけが求められる。 4. 言葉と文化は表裏一体のものと考え、中国語を上手になるため、中国の文化・歴史などについても積極的に理解する努力をする。 5. 積極的に中国語レシテーション課題練習に取り組む。 			

教科 (科目の種類) 外国語		学科 (コース) 名	学 年	単 位 数	履 修 期 間
		商業・工業(選択)	2年	2単位	前期・後期・ 通年
		科目名	中国語 I		
目 標	生徒の中国語に対する興味を湧かせることを前提にし、発音記号をしっかりと練習させ、日常生活の中でよく使われる表現を学習し、最も基本となる文型を修得すると共に積極的に中国語でコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。				
概 要	中国語入門知識。漢字とピンイン。声母・韻母・声調・音節・軽声・声調変化・無気音・有気音。自己紹介。日常用挨拶。人称代名詞・指示代名詞。名詞述語文・動詞述語文・形容詞述語文。「吗」を用いる疑問文。「反復疑問文」。疑問詞を用いる疑問文。数・時間・月日・曜日・年齢・などの言い方。「存現文」。助動詞「喜欢」、介詞「给」と二重目的語。代詞「什么と怎么」の使い方。完了を示す「了」と状態変化を示す「了」など。				
授 業 計 画	1 学期 (4月～7月) 1. 発音 音節のつづり方・声母・単母音 複合母音・声調・軽声・声調変化。 2. 第1課 こんにちは。 3. 第2課 おなまえは。 中間考査 4. 第3課 これはなんですか。 5. 第4課 どの国の人ですか。 6. 第5課 これは誰の鉛筆ですか。 7. 第6課 今日は何曜日ですか。 8. 第7課 今日は何日ですか。 期末考査 2 学期 (9月～12月) 1. 第8課 今何時ですか。 2. 第9課 いくつですか。 3. 第10課 いくらですか。 4. 第11課 何を買うつもりですか。 中間考査		5. 第12課 何人家族ですか。 6. 第13課 中国語教室はどこですか。 7. 第14課 図書館に中国語の本はありますか。 8. 第15課 趣味は何ですか。 9. 第16課 中国語を話せますか。 期末考査 3 学期 (1月～3月) 1月～3月 1. 第17課 明日来られますか。 2. 第18課 宿題はしましたか。 3. 第19課 中国に行ったことがありますか。 4. 第20課 私達は中国人学生に餃子作りを学びます。 総復習 学年末考査		
評 価 の 観 点	知識・技能 中国語発音の仕組みを理解する。子音・母音・声調についてマスターする。語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 思考・判断・表現 中国語の会話の行う場面、状況などに応じて、日常的な話題について、中国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図のなどを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 主体的に学習に取り組む態度 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 以上の観点と内容から評価する。また、校内・校外の中国語に関する発表会等の出場なども成績評価に取り入れる。				
教 材 履 修 上 の 注 意	教科書： 『じっくり学ぶ中国語』金星堂 1. 積極的な姿勢で授業に臨み、教科書・ノート・筆記用具は必ず揃えて授業を受けること。 2. 授業中は大きな声で発音練習し、発音記号はしっかりとマスターすること。 3. 初めて習う外国語なので、授業中だけでなく、学習した内容を日頃から復習する心がけが求められる。 4. 言葉と文化は表裏一体のものと考え、中国語を上手になるため、中国の文化・歴史などについても積極的に理解する努力をする。 5. 積極的に中国語レシテーション課題練習に取り組む。				

教科 (科目の種類) 外国語	学科 (コース) 名	学 年	単 位 数	履 修 期 間
	商業科観光コース	2 年	3 単位	前期・後期・ 通年
	科目名	観光中国語Ⅱ		
目 標	観光中国語Ⅰの基礎をさらに強化すると共に中国語基礎文法の3分の2まで習得する。聞く、読む、書く、話す等の総合的な学習によって、基礎的な力を育成する。言葉を通して、相互理解し、国際交流に積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。			
概 要	基本動詞・基本形容詞、基本文型のチェック、主述述語、目的語が主述句のとき、「原因・理由」を表す表現、「逆接」を表す表現、連動文、結果補語、「仮定」を表す表現、存現文、方向補語、「使役」の表現、疑問詞の不定用法、可能補語、介詞「把」、「推測」を表す表現など。 基本文型の学習と共に日常会話も重視する。自己紹介・自分の願望を人に伝える会話、他人に簡単な疑問・質問ができるように反復練習する。			
授 業 計 画	1 学期 (4 月～7 月) 復習 1 復習 2 第 1 課 中国に行こう。 第 2 課 ジャスミン茶を飲もう。 中間 考 査 第 3 課 友達をつくろう。 第 4 課 長城に登ろう。 第 5 課 卓球を楽しもう。 期 末 考 査 2 学期 (9 月～12 月) 第 6 課 漢字を覚えよう。 第 7 課 街を歩こう。 第 8 課 中国映画をみよう。 中間 考 査	第 9 課 チャイナドレスを買おう。 第 10 課 中華を食べよう。 第 11 課 西遊記を読もう。 期 末 考 査 3 学期 (1 月～3 月) 第 12 課 春節を祝おう。 纏め 1 手紙を書こう。 纏め 2 中国語を話そう。 総 合 練 習 (1) 総 合 練 習 (2) 総 合 練 習 (3) 学 年 末 考 査		
評 価 の 観 点	知識・技能 教科書を読める。文の構成を理解できる。本文の会話についてマスターする。語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 思考・判断・表現 中国語の会話の行う場面、状況などに応じて、日常的な話題について、中国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図のなどを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 主体的に学習に取り組む態度 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 以上の観点と内容から評価する。また、校内・校外の中国語に関する発表会等の出場・検定合格も成績評価に取り入れる。			
教 材 履 修 上 の 注 意	教科書： 『中国語つぎへの一步』 1. 積極的な姿勢で授業に臨み、教科書・ノート・筆記用具は必ず揃えて授業に参加すること。 2. 基本的な文型や文法事項などは課毎に理解し、実際に活用の練習をすること。 3. テキストの本文を暗唱したり、会話文を繰り返し練習するように語録の習得に努めること。 4. 言葉が使えるようになるには、反復学習が不可欠であり、授業中だけでなく学習した内容を日頃復習する心がけが求められる。 5. 積極的に中国語検定試験を取り組み、準4級合格・4級チャレンジを目標に授業に臨んでほしい。			

教科 (科目の種類) 外国語	学科 (コース) 名	学 年	単 位 数	履 修 期 間
	商業科観光コース	3 年	3 単 位	前期・後期・ 通年
	科目名	観光中国語Ⅲ		
目 標	「観光中国語Ⅰ」「観光中国語Ⅱ」の基礎を強化すると共に、易しい日常会話などを聞き取り、中国語を理解し、中国語で自分の考えなどを表現する能力を養うと共に、コミュニケーションを図ろうとする態度と力を養成する。			
概 要	<p>1・2年生で学んだ基本的な単語や表現を復習しながら、新しい表現を徐々に加え、目・口・耳を使って繰り返し練習することによって、さらに充実したコミュニケーション出来るように授業を進めます。</p> <p>主な内容は旅行に関する会話で、目的地に到着、道を尋ねる、買い物、バスに乗る、友達を紹介する、食事、約束、電話をかける、郵便局へ行く、医者に行く、などの会話。</p>			
授 業 計 画	<p>1 学期 (4 月～7 月)</p> <p>第1 課：通学 第2 課：四季 中間考査 第3 課：日帰り旅行 第4 課：願い 期末考査</p> <p>2 学期 (9 月～12 月)</p> <p>第5 課：夏休み 第6 課：興味 中間考査 第7 課：読書 第8 課：年越し 期末考査</p> <p>3 学期 (1 月～3 月)</p> <p>第9 課：チャットする 第10 課：短期留学 総合復習 卒業考査</p>			
評 価 の 観 点	<p>「興味・関心・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」の4観点を「出席状況」「授業への取り組み」「定期試験」「提出物」など、総合的に評価する。</p> <p>①定期考査の達成度。②小テストと提出物(授業中の発音・朗読・会話・書取・暗記テスト等の得点、課ごとの宿題提出状況)。③出席状況(出席率・教科書・ノート・筆記用具が揃っているか)。④授業態度(集中して授業を受けているか、筆記録、積極的に質疑に応じる等)。</p> <p>以上の観点と内容で評価する。また、校内・校外の中国語に関する発表会等の出場・検定合格も成績評価に取り入れる。</p>			
教 材	<p>教科書： 『実用中国語10課 2』</p> <p>副教材：</p>			
履 修 上 の 注 意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 明確な学習目的を持って、授業に臨んでほしい。 2. 観光中国語の授業は発音の練習や会話の練習が多く、他の授業とは違うことを知る。 3. 間違いを恥ずかしがらず、リズムやイントネーションを注意して大きな声で練習し、質問したり返答したりすることが大切である。 4. 会話に必要な文型や文法事項を理解し、活用する。 5. 言葉が使えるようになるには、反復練習が不可欠である、授業中だけでなく、学習した中国語表現を日頃から反復練習する心がけが求められる。 6. 積極的に中国語検定試験を取り組んでほしい。 			

教科 (科目の種類) 外国語	学科 (コース) 名	学 年	単 位 数	履 修 期 間	
	全学科 (総合選択 B)	3 年	2 単位	前期・後期・ 通年	
	科目名	中国語会話			
目 標	易しい日常会話などを聞き取り、中国語を理解し、中国語で自分の考えなどを表現する能力を養うと共に積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。				
概 要	1. 発音記号の練習。 2. 初対面の挨拶、自己紹介。 3. いろいろな場面での会話。 4. 関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりする練習。 5. 日常会話に必要な基本的な文型や文法事項。 6. 聞いたり、読んだりして、得た情報や自分の考えをまとめて発表する。 7. 中国事情。				
授 業 計 画	1 学期 (4 月～7 月) 1. 中国語基礎知識 2. 中国語の子音・母音・声調 3. 初対面の挨拶 第 1 課：あなたは日本人ですか？ 4. 第 2 課：お名前は？ 中間考査 2 学期 (9 月～12 月) 1. 第 5 課：私は郵便局へ行く。 2. 第 6 課：あなたは中日辞典を持っていますか。 中間考査	3. 第 7 課：私はモウタイ酒を買いたい。 4. 第 8 課：あなたは中国料理好きですか。 5. 第 9 課：広東料理を食べたことがありますか？ 期末考査 3 学期 (1 月～3 月) 1. 第 10 課：乾杯！ 2. 総合練習復習 卒業考査			
評 価 の 観 点	<u>「興味・関心・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」の4観点を</u> 「出席状況」「授業への取り組み」「定期試験」「提出物」など総合的に評価する。 ①定期考査の達成度。②小テスト（授業中の朗読・聞き取り・会話テストの得点。中国語を聞いて、正確に理解し、正しい中国語で話すことができるか。）③出席状況（出席率・教科書・ノート・筆記用具が揃っているか）。④授業態度（集中して授業を受けているか、言葉としての中国語に興味関心があるか。大きな声で積極的に授業に参加しているか。筆記録。） 以上の観点と内容から評価する。また、校内・校外の中国語に関する発表会等の出場・検定合格も成績評価に取り入れる。				
教 材	教科書：『中国語 10 課』 副教材：				
履 修 上 の 注 意	1. 明確な学習目的を持って、授業に臨んでほしい。 2. 中国語会話の授業は発音の練習や会話の練習が多く、他の授業とは違うことを知る。 3. 間違いを恥ずかしがらず、リズムやイントネーションを注意して大きな声で練習し、質問したり返答したりすることが大切である。 4. 会話に必要な文型や文法事項を理解し、活用する。 5. 言葉が使えるようになるには、反復練習が不可欠である、授業中だけでなく、学習した中国語表現を日頃から反復練習する心がけが求められる。				